

近年の社会病理現象(権力・情報犯罪等)を分析するための
新しい理論枠組構築のヒントを提供してくれる文献集。

日本の社会病理 文献選集

全5巻

松下 武志 編・解説



クレス出版

日本大学文学部教授

松下 武志

一九七〇から八〇年代にかけてみられた日本における〈社会病理学〉の活況期を想起する時、今日の〈社会病理研究〉は大きな岐路に差しかりつつある。それは研究の質・量の両面において指摘することができる。量的に見れば〈社会病理〉と銘打った専門的研究書や教科書類を書店の棚で目にするのは少なくなっている。質的には〈逸脱の社会学〉、〈社会問題の社会学〉、〈臨床社会学〉といった新たな名称のもとに〈社会病理学〉を乗り越えようとする試みがなされている。

他方で、伝統的な〈社会病理学〉を内在的に批判し、それを克服することによって新しい〈社会病理研究〉を打ちたてようとする試みもなされている。二〇〇〇年初頭になされた『社会病理学講座(全4巻)』の発刊はそうした試みの代表的企画とみることができる。その後〈社会病理研究〉に関する大きな企画は手掛けられずに今日に至っている。

久方ぶりに試みられた本格的な本企画によって、私たちは今日入手が困難になっている日本における〈社会病理研究〉の先覚者たちの著作とその足跡をたどることができるようになる。そして社会学の導入期やあるいは戦後復興期、高度経済成長期等、日本のそれぞれの節目の時期に、先覚者たちが持っていた研究者としての時代認識や理念水準の高さとその内容等をこれらの悪戦苦闘の姿とともに確認することができる。

さらにそれぞれの時代が解明を要請した研究対象群、例えばスラム、ドヤ、公害といった可視的病理現象の特徴とそれを分析するための理論枠組に見られる先輩たちの創意工夫の仕方をつぶさに再検討することができる。本企画が提供してくれる古典的文献資料によって私たちは〈社会病理学的研究〉が活況を見るに至った要因や、その後の研究の一時的停滞をもたらした内在的要因等を探求することも可能になる。

また、これら古典的著作の読み直し作業は、近年ますます見えにくさを増している社会病理現象(権力・情報犯罪等)を分析するための新しい理論枠組構築のヒントを提供してくれる。さらには研究者と政策提起や社会的実践とのかかわり方についても有益な示唆を与えてくれるであろう。

本シリーズは社会病理の専門研究者はもとより、大学で学部院生や学生の勉学資料として貴重であるのみならず、政策の立案や実施などの現場で対応しておられる実務家の方々、あるいは一般の社会人にとっても有益な資料となると確信する。

(一) 貧困と住宅の問題

貧困を内容とするスラムの形態が、「住居の形式」——不良住宅——であらわされることはすでにふれたところである。賀川豊彦も生活難が貧民心理に及ぼす影響の一つとして住宅問題を次のように述べている。

「もう凡ては悲劇のかたまりである。二畳敷に落ちたが最後、人間としての品位は全く無いのである。足を延ばせば、壁を突き破る様な一坪の家に、かまども、ランプも、蒲団も、棚も、飯櫃も、水瓶の一つもあるのではなく、唯有るとすれば、箱の三つ四つ、カンテラ、襦袢層にかまど、がわりの石が三つ四つ、欠茶碗に、竹箸、土鍋位いのもの、之だけが家の諸道具の全部だとすれば、棒上げ(筆者注層屋)に売払うにしても、古道具は一銭の金も払ふまいが」

「それでも一軒の家を持つと云ふことは、貧民に取つては非常な名誉であるのだ。それは木賃宿に住んで居るものよりは、少し落ち付きがあると云ふのと、家を一軒占領して居ると云ふ征服的気分と、その長屋に多少でも知り合ひがあると云ふこと、木賃宿の生活より、より多く親密が加わると云ふこと、木賃宿住ひより経済的であると云ふなどより名誉となつて居るのである」(同書二一七—二一八頁)

この二ヵ所の説明は、この時代ばかりでなく、こんにちのスラムにも通じる重要な内容をふ

第三章 浮気の社会

一、浮気を誘う社会

結婚外の性関係は、社会から強く抑圧されている。従つて、夫婦関係にある男女間以外の異性が、性関係の対象となつてはならぬということが原則である。だが結婚外の性関係に対する社会的抑制を破ることに抵抗を感じないような異性があるならば、この原則は守られない。一体そんな人間がいるだろうか。

考えてみれば、性のモラルがあつても、そのモラルの通り人間が行動するとは限らない。否むしろモラルのあることは、それを破るような行動に出る人間が多いことを物語る。しかもこの社会的抑制力が強ければ強い程、それを破りたがる力も強いと考えなければならぬ。何故ならば、抑圧はそれを破ろうとする反作用の力と釣り合うから、反作用が強ければ強い程、抑圧も強くなるという関係にある。平たくいえば、性のモラルを破つてはならないということも強く主張する人は、それだけこのモラルを破りたがっている人であるということにもなる。もし、性のモラルに関心の薄い人ならば、それ程結婚外の性関係の禁という抑圧に、異常な興味を示さないからである。今迄身持ちが固いとか、道徳心が強いとかいわれていた人が、ある転機で、急に手がつけられぬ放蕩者になつたりするのも、この為である。

だが一般に社会に性のモラルが強く働いている場合、たとえこの抑圧を破りたいという悪魔

1 現代社会問題の社会学的考察

米田庄太郎著/弘文堂書房/大正10年

【内容】現代社会の階級分拆、現代階級闘争思想の発達、現代社会問題の社会学的意義、現代社会運動、現代哲学と資本主義精神、近代労働者階級の哲学思潮、精神的創造或は発明の原理、労働者教育運動の軌近の発達、消費組合の社会的意義、現代温情主義、協同主義労働組合、仏国黄色組合の発達

続現代社会問題の社会学的考察

米田庄太郎著/弘文堂書房/大正10年

【内容】社会問題の流行と其の後の流行問題、ディレクタンチズム、群衆運動の文化的価値、現代文明と淫売問題、女の万引の研究、低能犯罪者、現代浮浪者の研究、免囚保護問題、犯罪と社会生活、現代文明国民の運命、現代都市計画と都市測量、ルブレー派の家族論の発達、婦人運動の根本問題、現代人心理と宗教及び音楽

2

スラム —— 家なき町の生態と運命 ——

磯村英一著/大日本雄弁会講談社/昭和33年

【内容】スラムの誕生、古い形のスラム、新しい形のスラム、スラムと人種、スラムの仕事、スラムでの食生活、スラムでの性生活、スラム生活の最高と最低、スラムでの信仰、スラムの人間性、横山源之助とスラム、賀川豊彦とスラム、草間八十雄と松居桃楼、スラムはどうなる

日本のスラム —— その生態と分析 ——

磯村英一編著/誠信書房/昭和37年

【内容】スラム対策の概観、スラムの性格と機能、現代型・個別型スラム、前近代型・特殊型のスラム、近代型・混合型のスラム、山谷・釜ヶ崎事件の体験、スラム対策の事例

社会病理学事典

那須宗一・大橋薫・大藪寿一・仲村祥一編/誠信書房/昭和43年

【内容】社会病理学の歴史と構造、社会病理学研究の理論、人間の病理、集団の病理、地域社会の病理、現代社会の病理、現代文化の病理、社会病理への対策

3

都市の社会病理

大橋薫著/誠信書房/昭和35年

【内容】社会病理研究の基礎理論、都市社会の構造、個人病理、家族病理、地域病理、職能病理、偏倚集団、社会病理研究の結論

都市の下層社会 —— 社会病理学的研究 ——

大橋薫著/誠信書房/昭和37年

【内容】下層社会の社会病理、下層社会の地域的形態、下層社会の職能的形態

4

社会病理学

大橋薫・大藪寿一編著/誠信書房/昭和41年

【内容】社会病理研究の理論と歴史、個人と社会病理、小集団と社会病理、地域社会、階級・階層と社会病理、産業化・官僚制化と社会病理、大衆文化と社会病理、社会病理学と社会福祉

応用社会学

大藪寿一著/誠信書房/昭和41年

【内容】団地、スラム・精神障害、矯正、購買行動

5

社会体制の病理学

仲村祥一著/汐文社/昭和42年

【内容】社会病理学の現代的課題、匿名・秘密・支配、レッドテープと体制、巨大都市の文化病理、風俗の病理、大阪市初等教育界における学閥、釜ヶ崎と社会科学者の反省、飛田・釜ヶ崎地区の犯罪、暗闘について、青少年問題考察の一視点、悲行において病めるもの、中範囲の実践について

社会病理学と都市底辺

小関三平著/汐文社/昭和43年

【内容】社会病理学の反省と課題、スラム問題の存在と意義、都市問題の基底と背景、「社会病理学」の現実と可能

異常社会

村田宏雄著/大日本雄弁会講談社/昭和31年

【内容】性のモラルと離婚、浮気のカニズム、浮気の世界、浮気と家庭、青少年の問題

日本の社会病理文献選集 全5巻

松下 武志 編・解説

- | | | |
|-----------------------------|---------------|-----------------------|
| 1. 現代社会問題の社会学的考察 正・続 | 定価20,000円(税別) | ISBN978-4-87733-583-0 |
| 2. スラム、日本のスラム、社会病理学事典 | 定価17,000円(税別) | ISBN978-4-87733-584-7 |
| 3. 都市の社会病理、都市の下層社会 | 定価20,000円(税別) | ISBN978-4-87733-585-4 |
| 4. 社会病理学、応用社会学 | 定価16,000円(税別) | ISBN978-4-87733-586-1 |
| 5. 社会体制の病理学、社会病理学と都市底辺、異常社会 | 定価20,000円(税別) | ISBN978-4-87733-587-8 |

A5判/上製函入 平成23年5月25日刊行

揃定価93,000円(税別) ISBN978-4-87733-588-5(セット)

黒田俊夫著作選集 人口と社会 全8巻

清水浩昭 編・解説

本著作集には、「人口学することの学問的、社会的意義」「人口学することの愉しみ」「人口学から現代社会を読み解く理論と技法」が凝縮。

- | |
|-------------------------|
| 第1巻 社会保障と人口 |
| 第2巻 世界人口 |
| 第3巻 日本人口と人口論 その一 |
| 第4巻 日本人口と人口論 その二 |
| 第5巻 人口動態 その一 |
| 第6巻 人口動態 その二 |
| 第7巻 人口構造、人口移動と地域人口 |
| 第8巻 結婚と家族、その他・解説・主要研究業績 |
- 揃定価95,000円(税別) ISBN978-4-87733-498-7(セット)

岡崎文規著作選集 人口と家族 全6巻

清水浩昭 編・解説

大正末期から昭和40年代に至る長い期間、日本を代表する人口学者の一人であり、また人口行政の中心者であった岡崎文規の主要著書・論文を編集。

- | |
|----------------------|
| 第1巻 人口統計研究、国勢調査論 |
| 第2巻 新東亜確立と人口対策、結婚と人口 |
| 第3巻 日本人口の実証的研究 |
| 第4巻 自殺の国、自殺の社会統計的研究 |
| 第5巻 結婚と家族、自殺論 |
| 第6巻 論文・解説 |
- 揃定価85,000円(税別) ISBN4-87733-011-9(セット)

近代犯罪科学選集 全7巻

多種多様の犯罪を科学的に考究し、社会、人間の暗部を抉る稀観資料。

- | | | | |
|--------------|--------------|---------------|-----------------------|
| 第1巻 変態心理と犯罪 | 中村 古峽 著 | 定価10,000円(税別) | ISBN978-4-87733-434-5 |
| 第2巻 女性と犯罪 | 野添 敦義 著 | 定価 8,000円(税別) | ISBN978-4-87733-435-2 |
| 第3巻 殺人と性的犯罪 | 加藤寛二郎・荒木治義 著 | 定価11,000円(税別) | ISBN978-4-87733-436-9 |
| 第4巻 演劇と犯罪 | 飯塚友一郎 著 | 定価 9,000円(税別) | ISBN978-4-87733-437-6 |
| 第5巻 犯罪者の心理 | 金古 準二 著 | 定価12,000円(税別) | ISBN978-4-87733-438-3 |
| 第6巻 売淫、掏摸・賭博 | 喜多壮一郎・尾佐竹猛 著 | 定価14,000円(税別) | ISBN978-4-87733-439-0 |
| 第7巻 暗殺・革命・動乱 | 喜多壮一郎 著 | 定価10,000円(税別) | ISBN978-4-87733-440-6 |
- 揃定価74,000円(税別) ISBN978-4-87733-433-8(セット)

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 メローナ日本橋
☎03-3808-1821 ☎03-3808-1822 <http://www.kress-jp.com/>



株式会社クレス出版

●書店名